

多種多様な「ものづくり」を地域に還元

J.I.S.R.I. e-ASIA2015

10月1日、福岡県立大学で「J.I.S.R.I. e-ASIA2015 (医・理・文融合による革新的地域活性国際会議)」が行われました。

この会議は、理系と文系を融合させた広い範囲における論文を発表することで、地域振興や地域活性、社会貢献につなげようといわれたもので、この日は、日本をはじめ、韓国、フィリピン、ベトナムなどの25大学7企業研究所の学生や若手研究者など71人が、バイオ技術のエネギー論や過疎地の有効活用策などの論文を発表しました。

主催した地域振興学会の星野宗広理事長（マルボシ酢株式会社社長）は「たがわを国内外にアピールする絶好の機会。今後も田川の地で隔年開催を目指したい」と話しました。



▲英語で行われた論文発表に耳を傾ける傍聴者

おめでとうございます

平成27年度の市政功労者と教育功労者が決定しました。

市政功労者

市政功労者の称号は、功績が極めて顕著で、市政の振興発展に貢献した人に贈られます。

江本 竹乙さん

(大字奈良)

昭和48年4月から田川交通安全協会の理事を務め、平成9年4月からは会長に就任され、交通事故防止活動の先頭に立ち、事故抑止に大いに貢献されました。特に県内交通安全優秀校として通算37回受賞の栄誉を果たしている大浦小学校「交通安全少年隊」の結成に尽力され、現在も同協会顧問として安全安心なまちづくりを目指し活躍されています。

井上 数夫さん

(大字与那田)

昭和42年4月から平成15年3月までの永きにわたり、奉仕の精神の下、消防団員を務められました。

この間、消防任務の重要性を自覚し、分団長として団員の規律保持や安全、財産保護のため献身的に職務を遂行し、消防の将来を展望して消防力の機動化、団員の処遇改善に意を注がれました。

尾垣 有二三さん

(大字位登)

平成21年7月の教育長就任以来、教員の指導力向上、教育環境の整備、文化財の保存活用に尽力し、本市の教育、文化の発展に精力的に努められました。31年間の教職員の経験を生かし、教育環境の変化に対応する改革の第一歩となる幼保一体型施設「たがわこどもセンター『まいまい』」や田川市立小中一貫校猪位金学園のスタートに貢献されました。

高瀬 春美さん

(大字伊加利)

昭和58年5月から現在までの永きにわたり市議会議員を務め、市政の振興発展と住民福祉の向上に大いに貢献されました。特に3期

教育功労者

教育功労者の称号は、市の教育、学術、文化の振興に貢献した人または団体に贈られます。

木下 行則さん

(新町)

人材バンクの歌謡教室の講師として、多年にわたり多くの人材を育成し、歌による健康維持や文化の充実、発展に尽くされました。

▼問い合わせ 教育総務課

(☎44・2000内線552)